



隊員一覧



総監督

市村 正親



隊長

林家 たい平



足袋蔵のまちづくり

副隊長 朽木 宏 (くちひろし) (行田市) (60)
NPO法人天眞山・多峰主山の自然を守る会 代表理事。建築家としての、30代のごころから市民活動に参加。「森と街、自然と人をつなぐ」をテーマに環境保全とまちの活性化に努めている。



子どもの健全育成

隊員 牧野美千子 (まきのみちこ) (浦和区) (52)
埼玉県出身のタレント。特技はモダンバレエ、琴の演奏、陸上競技。在学中に「ミス実践」に選ばれモデルとして活動を開始。1984年のドラマ「超電子バイオマン」で女優デビュー。現在は築地の佃魚店の女将。



ダンスによる地域振興

隊員 斎藤 京子 (さいとうきょうこ) (蓮田市) (60)
40年前に日本に上陸したジャズダンスの県内での普及に尽力。非営利の任意団体でスタジオを開設し低廉な費用でジャズダンスを教える。市の公共施設のサポーターに参加。市民総参加でミュージカルを上映し地域おこしをするのが当面の目標。



クローバーで町おこし

隊員 鈴木 一男 (すずきかずお) (加須市) (64)
民間企業出身。平成14年に退職後、保険代理店を経営。28年に「幸せのクローバーの会」を設立。平成21年に56枚葉のクローバーの新聞記事を見て、高齢者が元気になるために四つ葉のクローバーを広める活動を開始。メディア等で多数紹介。



観光ガイドボランティア

隊員 寺田 竹雄 (てらただけお) (杉戸町) (65)
杉戸宿案内の会会長。杉戸の歴史との出会いは「古代住居跡」の見学から。その後復元にも関わる。町の観光協会からの認定を受け、杉戸宿の歴史や文化、観光スポット等を案内する観光案内ボランティアガイドとして活動中。



環境保全・地域おこし

隊員 浅野 正敏 (あさのまさとし) (飯沼市) (67)
NPO法人天眞山・多峰主山の自然を守る会 代表理事。建築家として、30代のごころから市民活動に参加。「森と街、自然と人をつなぐ」をテーマに環境保全とまちの活性化に努めている。



スポーツボランティア

隊員 大山 操 (おおやまみさお) (三郷市) (68)
民間企業出身。マラソンなどのスポーツイベント等のボランティアスタッフの経験があり、今後は入隊をきっかけにあらたな地域活動へ挑戦しようと意欲的。



文化芸術の振興

隊員 水村 雅啓 (みずむらまさひろ) (入間市) (65)
NPO法人入間市文化創造ネットワーク理事、入間市文化創造アトリエAMIGO館長。旧埼玉県繊維工業試験場入間支場の建物を活用したコミュニティの拠点づくりと文化芸術の振興に取り組み。



観光振興・地域活性化

隊員 野暮 博美 (のむらひろみ) (管野町) (74)
元県職員。数多くの写真集を出版。旅雑誌等執筆多数。皆野町の自宅に500坪のキバナコスモス畑を作り、地域住民の交流拠点として活用する取組を行う。とった種を周辺の住民に配るなどの計画も。



地域の様々な課題解決

隊員 前高 賢司 (まえたけけんじ) (三芳町) (63)
民間企業出身。20歳の頃から地域活動に興味を持ち、青年フェスティバルなどのイベントを企画。定年後は自治会長ほか様々な肩書きを持ちながら、いきがい大学に入學したり自治体や社協主催の様々な講座を受講。様々な地域活動を展開している。



地域支えあい活動

隊員 下塚辺信行 (しもかたへののぶゆき) (鶴ヶ島市) (63)
元公務員。ボーイスカウトで30年以上活動。再任用等を経て、今年4月から地元のNPO法人鶴ヶ島第二小学校区地域支えあい協議会の門をたたき入会。最若手のスタッフとして事業に取り組み。



食と農による地域振興

隊員 平林 知人 (ひらばやしちかひと) (北區) (73)
チーム農援隊 (約20人)、そば知人塾 (約15人) のリーダー。高齢になった農家の畑で野菜栽培のお手伝いをしたり、そば打ち体験を通して、地域の方々に手打ちそばを振舞ったりしている。さいたま市・市民の森を拠点に活動を展開中。



マジックショーなど

隊員 佐藤 重剛 (さとうじゅうこう) (蓮田市) (78)
元公務員。いきがい大学を夫婦で受講。生徒たちで作る趣味サークルで民謡やマジックなどを楽しむが、施設訪問などの活動を展開。趣味は水泳で、各種大会に出場して賞をとるほど。



子どもの見守り活動

隊員 蒲田 秀男 (かまたひでお) (朝霞市) (77)
民間企業出身。町内会の活動を10年以上続けるほか、朝霞ぐらんぱの会に所属し、小学校での授業支援や放課後児童クラブでの子供の見守り活動を行う。いきがい大学は4つまわり、校友会の会長も務める。



地球温暖化防止

隊員 前田 貞義 (まえだのりよし) (鳩山町) (73)
つるがしま少のカーテン市民実行委員会 (愛称:みどりかけ) 会長。まちじゅうに緑のカーテンをひろげよう、学校や市民を対象に環境教育を兼ねたカーテンづくりを実施し、省エネ・節電を進め地球温暖化防止に取り組んでいる。



傾聴ボランティア

隊員 太田 順介 (おたじゅんじ) (児沼区) (71)
傾聴ボランティア「あゆみ」の事務局を務める。(公益社団法人さいたま市シルバー人材センター内)。養成講座を修了した60歳以上の男女約330人が登録。高齢者施設や個人宅を定期的に訪れて話を聴く活動を続けている。



自治会活動

隊員 菅野 吉雄 (かんのよしお) (北區) (64)
元県立学校の教員。保護者として活動するほか、自治会活動に積極的に参加し、ふるさと三春の広報誌の編集にも携わる。自治会活動未経験から、一念発起して自治会長になった経験を発信したいと意気込む。



地域活性化

隊員 平井 信夫 (ひらいのぶお) (上尾市) (74)
民間企業出身。JICA海外ボランティアとして、2年半/バヌアツ共和国に勤務。豊富な海外経験を生かし、多文化共生活動を展開。また、上尾市で「市民活動推進の会」を立ち上げ、市民塾等を通じて地域活性化に取り組んでいる。



ラジオによる魅力発信

隊員 深谷 教子 (ふかやきょうこ) (行田市) (63)
元小学校の校長先生。人とのかかわりや人前で話すことが大好きで、鴻巣FMラジオの「深きよの未知草」パーソナリティを務める。地域活動での体験や感動を番組を通じて分かりやすく面白く、リアルに発信していきたいと意欲的に活動中。



地域キャリア支援

隊員 高荷 和久 (たかのかかずひさ) (南区) (65)
民間企業出身。現役時代は、スタッフ教育に携わる。地域活動の経験なし。「キャリアデベロップメントアドバイザー」の資格を生かして、地域の中でシニア世代のキャリアや能力を高めるマッチングの仕組みを作りたいと地域デビューを模索中。



傾聴ボランティア

隊員 柿澤 和久 (かきざわかずえ) (北區) (69)
長年保育事業に携わり、退職後は、さいたま市の傾聴ボランティアの活動に参加している。リソースとして話をしていただけるようにと、特技のハンドアップなどを取り入れることも。身近なところから地域デビューする仲間を増やそうと目下活動中。



落語・映像で地域活性化

隊員 浜宮 文博 (はまみやふみひろ) (東松山市) (69)
民間企業のエンジニア出身。退職後は、地元ビデオクラブに加入。作品を市民に公開したり、ケーブルテレビで放送するなど活動を展開。また、趣味の落語を生かして、落語イベントの開催を通じて地域活性化を計画している。



活動分野を検討中

隊員 石井 清二 (いしいせいじ) (上尾市) (65)
民間企業出身。一般財団への再就職を経て退職後は、地域活動を模索中。現在、地域デビューを果すため、まずは体力作りからと、太極拳に打ち込んでいる。災害、貧困、空き家等の地域課題に取り組む活動を中心に、現在活動先を検討中。



子育て支援

隊員 土方 敏子 (ひしかたとしこ) (越谷市) (64)
主婦業に専念していたが、子供の自立を機に、越谷市を中心に地域活動を始め。絵本の読み聞かせ、放課後子ども教室などの子育て支援や、地域の花壇に花を植える環境美化活動などに取り組み、ボランティア団体の代表も務める。



活動分野を検討中

隊員 村田 剛 (むらたつよし) (北本市) (51)
隊員中最年少。営業職としてメーカーに勤務する現役サラリーマン。今回、竹が町をより良くし、次世代に引き継げるようにしたいと応募。趣味が深流釣りということもあり、自然に関わるボランティア活動を中心に活動先を検討中。



観光振興

隊員 福島 勉 (ふくしまつとむ) (浦和区) (63)
民間企業出身。現在の生活は仕事中心で、地域活動は未経験。地域デビューに向けて、海外観光客を増やすためのまちづくりという切り口で活動先を検討中。



空き家問題

隊員 小山 祐司 (こやまゆうじ) (南区) (71)
10年ほど前から一般社団法人「埼玉いえ・まち再生会議」の発起人、理事として、空き家問題に取り組んでいる。高齢者の住宅の修理・修繕、暮らしの支援を行うほかさいたま市内にサロンを開き、住教育の普及に努めている。



観光振興

隊員 幸野 哲也 (こうのてつや) (廣市) (57)
現役の防衛省事務官。昨年東京都から引越してきたが、埼玉での地域活動は未経験。退職まであと数年となり、何か地元で役にたてればと応募。通訳案内士として登録し、主にインバウンド観光の分野で活動を模索中。



料理による地域振興

隊員 星野 弘子 (ほしのひろこ) (大宮区) (61)
料理教室講師。埼玉県県民活動総合センターの市民講師として県内各地で男の料理、親子の料理、雑穀料理などの講座を受け持つ。広報誌にも掲載されるなど活動多彩。市民と農業者をつなぐランドコーディネーターや国際交流活動などに取り組む。

総勢30名

市村総監督含まず
林家隊長含む



任命書

林家たい平様

あなたはその温かい人柄と情熱でたくさんの方々に笑顔を与えてこられました。よってその功績に深く敬意を表するとともにアクティブシニアに向けて地域活動の楽しさや魅力を発信し、たくさんの方々の笑顔を生み出したいただため「地域デビュー楽しみ隊長」に任命いたします。

平成29年8月24日

埼玉県知事 上田清司



地域デビューを とことん楽しむ宣言

私たち、地域デビュー楽しみ隊は、次の5つのことをとことん楽しむことを通じて、アクティブシニアに向けて地域活動の楽しさを発信し、地域の人々の笑顔を生み出していくことを宣言します。

- 一、地域活動を通して、自分の知識や経験を生かすことを楽しみます！
- 一、地域活動を通して、様々な人との出会いを楽しみます！
- 一、地域活動を通して、充実した時間を過ごすことを楽しみます！
- 一、地域活動を通して、心も体も健康でいることを楽しみます！
- 一、地域活動を通して、地域の課題を解決することを楽しみます！

平成29年8月24日

地域デビュー楽しみ隊 隊長 林家たい平



地域デビュー楽しみ隊 隊員一覧



総監督 市村正親



隊長 林家たい平



埼玉県

共助社会づくり課

平成29年8月24日

